

四〇一二番

矢形尾やかたをの 鷹たかを手にする 三島野みしまのに 狩からぬ日ひま
なく 月つきそ経へにける

四〇一三番

二上ふたがみの をてもこのものに 網あみさして 我あが待まつ鷹たか
を 夢いめに告つげつも

四〇一四番

松反まつがへり しひにてあれかも さ山田やまだの 翁をぢがその
日ひに 求もとめあはずけむ

四〇一五番

心こころには 緩ゆるふことなく 須加すかの山やま すかなくのみ
や 恋こひ渡わたりなむ

高市連黒人の歌一首
たけちのむらじくろひと うた

四〇一六番

婦負めひの野のの すすき押おしなべ 降ふる雪ゆきに 宿借やどかる
今日けふし 悲かなしく思おもほゆ